

1 調査目的 業務内容改善のため

2 調査対象 職員6名

3 調査年月日 平成30年12月28日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題点、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		・人数の多いグループでは保護者スタッフ子どもが1部屋に入るととても狭い	
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1		・作業療法士がいることが望ましい	・専門職員の不在は道の専門支援事業や研修などで職員の資質向上を図っていく
	3 指導室は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1		・写真の提示など一部構造化は行っているが、環境全般までは行っていない	・すべてに構造化が必要ではないが、今後検討が必要
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6				
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		1	・業務改善で会議を行うことがほとんどない	・今後「業務改善」を意識した取り組みをしていきたい
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		1		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・平成29年度放課後等デイサービスのみ実施。	・30年度以降は児童発達支援も実施し、業務改善につなげていく
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			・必要に応じての検査の実施、保護者と話す機会を持っている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	1	・全員標準化された検査を行っているわけではないが、概ね入園時に何らかの検査を実施している ・必ずしも全員に標準化されたアセスメントツールを使用していない	・基本的にはすべての児童に標準化されたアセスメントツールを使用していく
	11 支援計画には、「本人支援(発達支援)」、「家族支援」、「地域支援」に関する支援内容を盛り込みその上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	4	1	・家族支援、地域支援については実際に支援することは多くても支援計画に盛り込むことが少なかった。	・今後支援を意識するためにも盛り込んでいく。
	12 支援計画に沿った支援が行われているか	6				
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		・実施前にグループのメンバーで検討し話し合っている	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6				
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				
19 定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6					
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		・出来ているところと出来ていない所がある。	・すべての地域で適切な参加ができるよう取り組んでいく	

関係機関や保護者との連携	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2		・保健師、保育士と連携・情報交換を行っている	・今後さらに強化していく
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	1	・情報共有は行うことはあっても、必ずしも相互理解までは至っていない。	・今後はさらに連携の強化に努めたい。
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	1	・行う機会がほとんどない	・保護者の意向に沿った形で進めて行きたい
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		・道立専門支援事業を活用してスーパーバイズを受けている。	
	25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	・職員同士はケースを通して交流しているが、子どもが交流する機会を作るとは、地域的に難しい。	
	26	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	2	1	・自立支援協議会には参加しているが、会議の開催頻度が少ない。依頼があれば積極的に参加している。	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	3	1	・対応の仕方について話をするものはあるものの、ペアトレのプログラムまでは行っていない	・導入については検討して行きたい
保護者への説明責任等	29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1			
	30	「支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得ているか	6				
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	3	・活動中に保護者同士で話をする機会はあるが、父母の会や保護者会は行っていない ・父母会設立に向けた動きが一時あったが、具体化されていない	・要望があれば考えたい
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・面談や電話での相談を行っている	・懇談場面の設定を考慮していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・「おたより」で情報発信している	
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			・「夏まつり」に地域の住民も参加している	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				
40		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	2		・初回相談時に母子手帳などの情報から把握している	
41		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	1	4	・職員間で危険予測など共通理解しているが事例集としては作成していない	・今後作成していきたい
42		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				
43		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6				